

毎日の授業や生徒との接し方に悩む若い先生たち、こんな小さなきっかけから生徒が変わります。

中学校の授業開き

四月は授業開きの季節です。とりわけ、小学校から迎える一年生のキッド・ウォッチングは欠かせません。学級担任制で、どちらかといつと総合的に学習が進められ、育てられてきた子どもたちの個々の育ち方・学力・国語力を把握することは、教科担任制をとっている中学校の国語科教師がまずやらねばならぬことです。学習指導要領や小学校の教科書を見ることで、どのような言語活動をし、どのような言語経験を積んで言葉の力が育てられたかを、知ることができます(本誌P12参照)。けれども、それは子どもの実態ではありません。「こつやつてきたから」「こつこつ力がついたはず。」は通用しません。素直に子どもの姿をとらえ、そこから中学校の学習をスムーズに、しかも力強くスタートさせたいものです。

1 「授業開き」単元

「授業開き」の単元は、次のような趣旨のもとに計画し、展開します。目標は、
(1) 学習者の学力の診断的評価をする。
(2) 中学校の国語学習に必要な、基本的な力をつける。の二点です。(1は、小学校で育てられたはずの学力を診断することです。(2は、小学校で育てられたはずなのに身につかなかった言語活動)聞く、話す、話す・聞く、書く、読む)の力を、一人一人確かめながら訓練して身につけさせることです。そして、中学生として必要な基本的な言語活動力を、合わせて訓練していきます。

方法として、次の三つが考えられます。

教科書の第一単元を中心に組み立てる。
独自の「授業開き」単元を創設する。

を組み合わせ、学校の「総合的な学習の時間」とかかわらせて行う。

期間は、学校全体のカリキュラムとも関係しますが、四月の十時間、四・五月の二十時間あたりが目安でしょう。さしあたって、本格的な単元に入るまでにつけておかなければならない力や、言語経験をさせることが目標となります。十時間とか二十時間の授業時数は、学習者の人数によるものと考えてください。

2 学習診断・学習訓練のための言語活動

「授業開き」の単元で大切なのは、学力を診断したり訓練して身につけさせたりする言語活動を、どのように設けて実施していくかです。

〈学習活動をスムーズに行うために必要な言語活動〉
A 聞く

- ・ だまる(聞く態度づくり)。
- ・ 話し手のほうを向いて(目を見て)聞く。
- ・ 最後まで聞く。
- ・ 一回で聞き取る(集中して)。
- ・ 聞いて、指示通り行動する。
- ・ 聴写する。

A' 聴く(聴解力)

- ・ 二百字で自分の考えを述べる。
- ・ 原稿用紙の使い方。

E 読む

- ・ だまって最後まで読む。
- ・ 一回で読む。
- ・ 文学作品の情景・人物・場面・心理・関係などをとらえる。
- ・ 説明的・論理的文章の事柄・関係・論理をとらえる。
- ・ 大意・要旨をとらえる。
- ・ 文語文を読む・朗唱・暗唱する。
- ・ 読書の傾向・態度。

F その他

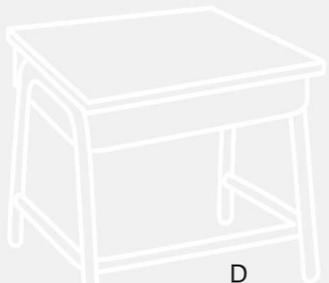
- ・ 国語辞典を使う習慣がある。
- ・ 事典・年鑑を用いる。
- ・ IT・ICT活用の学習経験(インターネット使用、パソコン使用、スタディノートの使用、プロジェクト、パワーポイントの活用、情報モラルの学習など)の有無・身につけている度合い。

ICT = Information & Communication Technology

「授業開き」単元では、こつこつした学力診断と学習訓練が可能な言語活動を設け、キッド・ウォッチングを行うようにしましょう。(元岐阜大学教授)

参考 『授業開きの構造』安居總子著(光村図書)

『ICTですすむ授業改善』長野市教育の情報化推進共同研究会編著(高陵社書店)



D 書く

- ・ 一時間に書ける量。
- ・ 漢字使用率(二五%が良)。
- ・ 正しい表記(句読点「、」、「は」を「へ」の使用カタカナ、ローマ字、年号の表し方など)。

C 話す・聞く(コミュニケーション)

- ・ ペア、または四人のグループでの話し合いの仕方を見につける。
- ・ 司会、記録、報告を兼ねる(の)の仕方を知り、身につける。
- ・ 話し合いの筋道をとらえる。

B 話す

- ・ 返事をする。
- ・ 伝えたいことを正確に話す。
- ・ まとまりをつけ、事柄ごとに区切って話す(一文で、だらだら言わない)。
- ・ メモをもとに話す。
- ・ 問いに答える。
- ・ パブリックな話し方(敬体)で話す。
- ・ 声の大きさ・話す速さ・姿勢。

- ・ 要点をとらえる(メモをとる)。
- ・ 話の大意・要旨をとらえる(メモをまとめて文に)。
- ・ 話を聞いて感想をもつ。
- ・ メモすること、メモの方法・メモからのまとめ方などを身につける。
- ・ 曖昧なところやわからないことを質問する。